



平成16年11月12日

各位

会社名 株式会社協和日成
代表者の役職名 代表取締役
社長 北村 眞隆
(登録銘柄・コード番号1981)
問い合わせ先 専務取締役 岩波 忠一
TEL 03-3464-0121

平成17年3月期中間および通期の業績予想の修正について

平成16年5月21日付当社「平成16年3月期決算短信」において発表しました平成17年3月期(平成16年4月1日～平成17年3月31日)中間および通期の業績予想を下記のとおり修正致します。

記

1. 業績予想

中間期(平成16年4月1日～平成16年9月30日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回予想 (A)	14,000	250	100
今回修正 (B)	12,372	43	29
増減額 (B - A)	1,628	207	71
増減率	11.6%	82.8%	71.0%

通期(平成16年4月1日～平成17年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	32,000	650	250
今回修正 (B)	30,500	250	100
増減額 (B - A)	1,500	400	150
増減率	4.7%	61.5%	60.0%

2. 修正理由

(1) 当中間期は、売上高14,000百万円、経常利益250百万円を計画いたしておりましたが、景気は海外情勢・地勢的リスク等一部に懸念材料はあるものの、安定的に持続回復してきておりますが、当業界は引き続き熾烈な受注競争が続いており、工事採算の悪化から、

売上高 12,372百万円(前回予想額との差異 1,628百万円 11.6%減)
経常利益 43百万円(前回予想額との差異 207百万円 82.8%減)
中間純利益 29百万円(前回予想額との差異 71百万円 71.0%減)
となる見込です。

(2) 下半期も、国内景気は拡大基調にあるものの、当業界は相変わらず厳しい受注競争が続くと思われます。業種柄下半期の売上高が上半期に比べて多いとは言え、売上高は低調に推移すると見られ、18,128百万円、経常利益207百万円を計画しています。

(3) したがって、平成17年3月期通期(16/4～17/3)としては、売上高30,500百万円、経常利益250百万円、当期純利益100百万円を予想しています。

3. 参考：前期の実績

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	中間(当期)純利益
中間期(15/4～15/9)	14,042	268	90
通期(15/4～16/3)	32,056	413	181

以上